

平成27年 9 月 10 日

政 務 調 査 報 告 書

栗山町議会議長 橋場 利勝 様

栗山町議会議員

栗山 雅也

このたび、政務調査のため出張しましたので次のとおり報告します。

日 時	平成22年 12月 6日 9:40 ~ 11:40
視 察 先	身延町早川町組合立飯富病院
視察項目	一部事務組合の設立経緯、地域医療について
対 応 者	早川町長、飯富病院名誉院長、総務課長
報告事項	組合長(早川町長)
	設立の経緯・昭和の合併後 現在の状況
	昭和27年8月 国民健康保険病院一部事務組合(9町村)として開設 医師は宅も建設
	昭和31年10月 町村合併により中富町・早川町二町の一部事務組合之病院
	昭和57年2月新築 平成7年4月老建54床併設
	一次医療は飯富病院でという信頼関係
	地域でどういう働きをしているか
	救急断り合い方針、急診、訪問診療
	町民から頼りにされて一に町の充実感
	診療報酬上げてほしい。
報告事項	名誉院長
	多岐一 地域産業なくなつて大変な状況
	成長産業=病院である
	国のやり方は500床以上に合わせたい
	診療報酬により、中小病院経営困難
	地域光臨型の医療目指す。(この病院がなくなったら困る)
	果は自前で自給医大建設し 医師派遣
報告事項	医師確保の苦節はない、年収1000万
	行政の役割は医療と福祉を一体に考える

日 時	平成 22 年 12 月 6 日 17:00 ~ 18:00
視 察 先	全国町村議員会館
視察項目	地域医療について
対 応 者	NHK 米厚福岡ジャーナ
報告事項	全口 of 地域医療、病院を取材し、検証の報道発信して I 病院の再編プラン（総務省ライン要請が中心） 総務省 — 経営しか見てない 厚労省 — 担い手については目利き、民間 どちらでも関係ない 「医療については知らない」が = 省の英断 救急医療 — 劣悪な違反で成立して 現在の大学 — 専内医療が定で総合医不足 II 医療崩壊を防ぐには の医療圏再編するべき ・病院 — 専内医の先生を集めて役割果たせる (レベルで 10 人位) 重症でも 24 時間対応 入院診療報酬上げべき ・診療所 — 訪問診療で報酬 ③ 病院の新築問題 全口で 21カ所 市場調査せず建設、赤字克服の厚労省に過度な負担 現在高金利 (直ぐない医療の道の時代) 急慢性期中心に建てるべきでない 地方自治体の交付税は不採算部内に使用 病院の建替之には使わないこと 全口 of 病院例

日 時	平成 年 月 日 : ~ :
視 察 先	
視察項目	
対 応 者	
報告事項	若手県藤沢市立病院 地域で死ぬな〜市ではダメ 医療と福祉一体化させる 地域から明確なエイジ✓持つ 恵仁会 急性期 一般着者みらい(紹介状) ナース 早く退院 診療所 退院後もフォロー 総合医(家庭医)育成と役割も 砂川市立病院(急性期)と奈井江国保病院(回復期)の連携